

関東同窓会総会報告

上原 昇 (2組)

6月24日(土)は上田高校関東同窓会の第62回定期総会の日です。

今回は4年ぶりにコロナ禍以前の形に戻しての開催となりました。

出席者は180名と従来と比べると少なめですが、この時期としては久しぶりの大人数です。

65期の参加は原田義則(3組)、丸山暢久(4)、戸叶秀晴(5)、宮原豊(9)と筆者の5名。

第1部の講演会は、今回の実行委委員長長期の75期で精神科医の金吉晴さんによる「心のトラウマの理解と治療」と題する話です。PTSD(心的外傷後ストレス障害)についてなど今の時代に相応しい内容で勉強になりました。金さんのプロフィールは以下の通りです。

<https://www.ncnp.go.jp/nimh/behavior/staff/kim.html>

第2部の総会では近藤正昭会長(69期)の執行部が退任、新たに矢島基美会長(72期)を始め25名の役員が承認されました。三人の90期台の役員も登場して若返った執行部のこれから三年間に期待したいと思います。

第3部アトラクションは上田から招へいした母校吹奏楽班43名によるコンサートです。

班員の諸君たちは前日から多くの楽器の梱包に追われ、当日は朝8時に上田を出発、楽器運搬車も含め大型車2台で来てくれました。

同窓会に吹奏楽班を呼ぶのは2013年総会以来、2回目となります。同班は現在3年18名、2年13名、1年12名と宮下靖弘先生(91期)以下顧問3名で活動中とのことです。

「星条旗よ永遠なれ」から始まり、アンコール曲まで10曲が1時間にわたり演奏され、如水会館の大ホールが狭く感じられるほどの大迫力演奏に聴衆一同圧倒されました。

お待ちかね、第4部の懇親会は昨年の着座弁当方式ではなく、立食パーティに戻り、各テーブルでは久しぶりの再会に話の輪が広がりました。

いつものことながら、荻原靖関西同窓会会長(74期)による乾杯の発声が行われる前からビールがポンポン開けられ、喧噪の中でのパーティ開始となりました。

来賓あいさつに立った母校学校長の宮下美和先生(84期)は会場のあまりの盛り上がりで用意した原稿を見ることもなく、スピーチを簡単に終え降壇することになりました。

筆者が宮下校長と話していると、59期の某先輩が来て「私の兄貴(54期)は先生のお父さんと同級生でした」とのこと、校長先生も何と対応していいのか困っていました。

12時からの総会は4時間を超える長丁場を無事終えて、16時半に散会となりました。

やはり、マスクを外して懇親できる総会は気分も爽快?でした。

以下写真6葉、写真提供は副幹事長の小山勇さん(92期)

講演する金吉晴さん(75期)



新会長の矢島基美さん(72期)



宮下美和学校長(84期)



母校吹奏楽班の演奏会 (班員のプライバシー保護のためボカシ編集しています)



東京遠征に向け
楽器の梱包が大変 (吹奏楽班ブ
ログより)

懇親会風景



以上

(2023
年 6月
26日記)